

地域連携講座

発達障害について

地域で診療に携わる医師の立場から

令和2年度

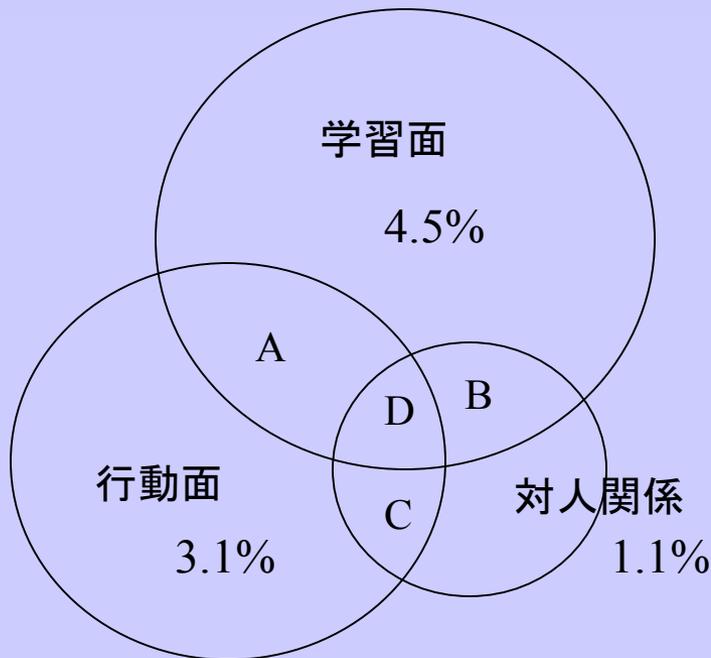
光の家療育センター 坂田睦子

発達障害では？と思われる児童、生徒の割合は？

* **通常学級において**、知的発達の遅れはないものの、学習面（読む、聞く、話す、書く、計算する、推論する）行動面（不注意、多動性）対人関係／こだわり について困難をしめす児童、生徒の割合

* **医師の診断ではない**

文科省全国調査 平成24年12月発表



全国 約54000人（小、約36000人
中、約18000人）

学習面に問題あり ≡ LD、軽度MR?

行動面に問題あり ≡ ADHD

対人関係、こだわり ≡ 自閉スペクトラム症

* 全体で**6.5%**

* **特別な支援を受けていない児童、生徒が約40%**

A~1.5% B~0.5% C~0.7% D~0.4%

本日の流れ

1 発達障害とは？

2 それぞれの発達障害

注意欠如多動症（障害）（ADHD）

自閉スペクトラム症（ASD）

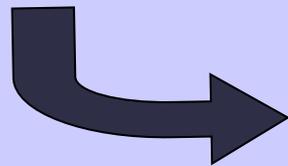
限局性学習症（学習障害）（LD）

3 支援をつなぐ

4 まとめ

発達障害とは？

- 発達「遅れ」～ 同じ年令の大多数ができることが出来ない
- 「偏り」～ 通常の発達の子供に見られる行動であるが、その程度が通常範囲を超えている
- 「歪み」～ 通常の子供に見られない行動が見られる



発達の凸凹がある

発達障害とは？

- 中枢神経系（脳）の生物学的成熟に深く関係した機能発達の障害、或いは遅滞
- 発症は、常に乳幼児期或いは、小児期
- 日常生活に支障がある

※ 遅れや歪みが、日常生活に明らかな支障を来す程でなければ障害とはいわない。

発達障害の「気になる」行動

政府広報から改変

- ① **人との関わり方**
一人遊びが多い おとなしすぎる 常に受動的
- ② **コミュニケーション**
一方的に喋る 指示が伝わりにくい 聞いていない
- ③ **イマジネーション 想像力**
相手の嫌なことを言うてしまう
ふざけていることがわからない 急な変更混乱する
- ④ **注意 集中**
落ち着きがない 集中力がない 忘れ物が多い
- ⑤ **感覚**
ざわざわした音が苦手で耳をふさぐ
靴下を脱いでしまう
極端な偏食 手を繋げない

発達障害の「気になる」行動

⑥ 運動

床に寝転がることが多い

極端な不器用 食べこぼしが多い 筆圧が弱い

力の加減が苦手 大きすぎる声

⑦ 学習

話す能力に比べて作業が遅い

漢字が書けるのにひらがなが書けない

図鑑などは好んで読むが作文は苦手

⑧ 情緒 感情

極端な怖がり

些細な事でかっとなりやすい

パニックなる

「気になる」行動に「気づいて」！

発達障害に含まれる疾患

- * 注意欠如多動症（障害）（ADHD）
- * 自閉スペクトラム症、
（自閉症スペクトラム障害）（ASD）
自閉症 高機能自閉症
広汎性発達障害 アスペルガー障害
- * 限局性学習症（学習障害）（LD）
読字障害 書字障害 算数障害
- * 発達性協調運動障害
- * 知的障害

主な発達障害

各々が併存しやすい

大塚製薬 自閉スペクトラム症のABCから

自閉スペクトラム症
(ASD)

注意欠如多動症
(ADHD)

多動性 衝動性
不注意

限局性学習症
学習障害 (LD)

発達性協調運動障害 (DCD)
全身運動が苦手
不器用

主な発達障害とその特性

言葉の発達の遅れ
コミュニケーション障害
対人、社会性の障害
パターン化、こだわり行動

知的障害を伴う
事もある

自閉症
自閉スペクトラム症 (ASD)
広汎性発達障害
(アスペルガー症候群)

注意欠如多動症
(ADHD)

学習障害 (LD)

基本的に言葉の遅れはない
コミュニケーションの障害
対人、社会性の障害
パターン化した行動
興味、関心の偏り 不器用

診断の手順

(1) 聞くこと

- ・受診の経緯、困っていること
- ・行動の様子(現在、過去、家庭、園、学校での様子)

2か所以上(家庭と園など)で同じ傾向があることの確認が必要

生活リズム、身辺自立の様子

- ・成育歴(運動発達、言葉の発達、成育環境など)

過去の振る舞いが特徴をあらわしていることがある

母子手帳

- ・家族歴

- ・簡単な発達検査 ~ 保護者からの聞き取りでのもの

診断の手順

(2) 診ること

- ・診察室での行動の観察
- ・身体の診察
- ・保護者の様子（虐待の可能性）

(3) 検査

- ・詳しい発達検査

田中ビネー検査 新版K式発達検査 WPSSI WISC など

- ・脳波 頭部画像検査 聴力検査 等

(4) OT / STによる発達の評価(リハビリ訓練開始後)

* 単独で診断できる画像検査や、チェックリストはない *

診断（見たて）の意義

診断／見たて . . . 発達特性の評価

- ・ **発達特性の理解、共有、受容**
肯定的に解釈：子どもを認めて伸ばしていこう
行動を予測し不利益に備える
二次障害の予防の始まり
 - ・ **対応の検討 継続的な支援（早期支援へ）**
 - ・ 鑑別診断、合併症 など
 - ・ 虐待（ネグレクト）の可能性
- ※早期診断の難しさ **年令、環境により目立つ症状が異なる**
- ※診断を受けなくても支援の対象になる

二次障害とは

- ・ 子どもの個性や性格が理解されず、適切な環境が構築されていないとき、中核症状以外に二次的に生ずる情緒や行動の問題

(1) 外在化：

反抗挑戦性障害

すぐ怒る 口論好き

人をいらだたせる

行為障害

いじめ 脅迫 万引き

反社会性人格障害

(2) 内在化：

不登校、ひきこもり

不安障害

気分障害

(齊藤万比古先生)

発達障害における支援、治療の位置付け

療育的対応（行動療法）

（心理社会的療法）

本人 SST

家庭（保護者）

ペアレントトレーニング

環境調整

幼保、学校

環境調整

療育機関 地域 福祉

+

薬物療法

本日の流れ

- 1 発達障害とは？
- 2 **それぞれの発達障害**
 - 注意欠如多動症（ADHD）**
 - 自閉スペクトラム症（ASD）**
 - 限局性学習症（学習障害）（LD）**
- 3 支援をつなぐ
- 4 まとめ

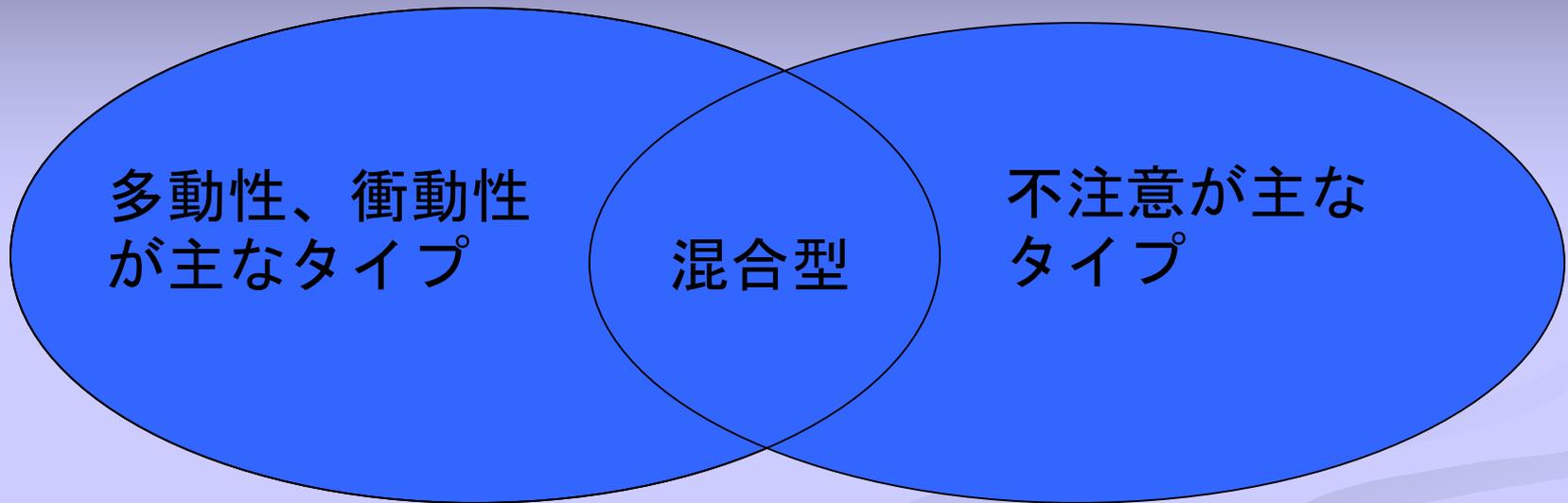
注意欠如多動症(障害)

ADHD

ADHDの症状

- 1 **過活動(多動)**: 状況と無関係に多動 極端なくらい活動的
 - ・座っていても手足をモゾモゾ
 - ・座ってられない
 - ・ひどく走り回ったり、高い所に登る
 - ・過度に喋り過ぎる
- 2 **衝動性**: 予測、考えなしに直ちに行動を起こしてしまう
 - ・質問が終わらないうちに出し抜けに答える
 - ・順番が待てない
 - ・待つ事が苦手で、他人を阻止したり邪魔したりする
- 3 **不注意**: 注意、集中が苦手で人の言う事が聞けない
 - ・うわの空でボーとしている
 - ・外からの刺激で容易に注意がそがれてしまう
 - ・忘れ物や、物をなくす事が多い

ADHDの3つのタイプ



- ・ 迷子やケガが多い
- ・ 着席困難
- ・ 順番が待てない
- ・ 思い通りにならないと怒りだす など

- ・ 気が散りやすい
- ・ うわの空でボーッとしている
- ・ 忘れ物が多い など

自閉スペクトラム症 ASD

(自閉症スペクトラム障害)

自閉症

高機能広汎性発達障害 (HF-PDD)

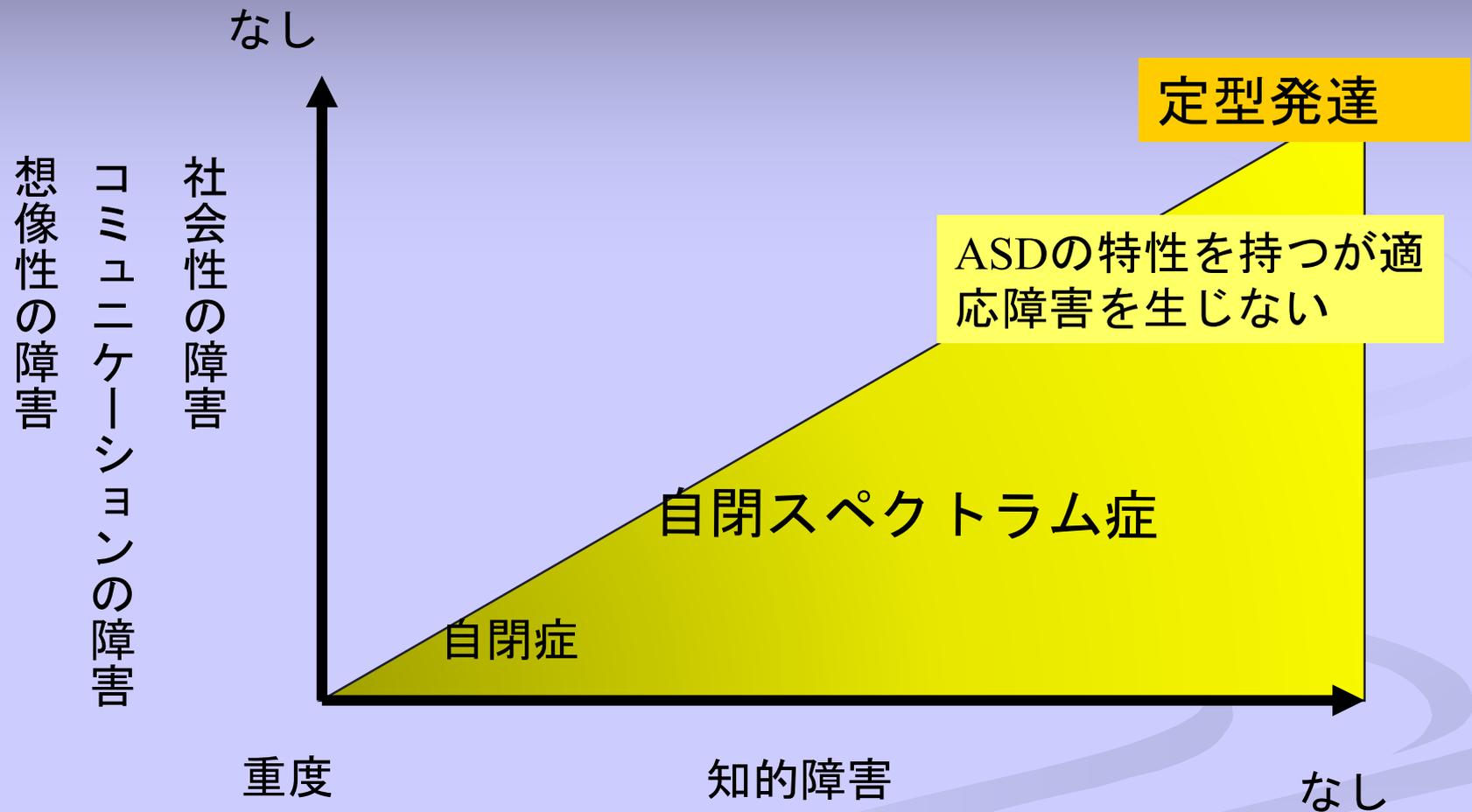
アスペルガー症候群

特定不能の広汎性発達障害 (PDD-NOS)

自閉スペクトラム症の基本症状

- **社会性(対人関係)・コミュニケーション**
の障害
- **想像力の障害**
(興味、関心の偏り こだわり)

自閉スペクトラム症 (ASD)



自閉スペクトラム症の症状

社会性の障害（人と相互的にやりとりする事が困難）

コミュニケーションが苦手

- あやしても目が合わない 反応が乏しい 抱っこを嫌がる
よく一人で遊んでいる
- 言葉の遅れ オウム返し 指さしの遅れ
一方的に喋りすぎる
- 他の人の気持ちや状態を理解できない
- 共感を求めない

自閉スペクトラム症の症状

常同・こだわり行動、想像力の障害

気持ちや行動を切り替えたり、臨機応変に対応する事が苦手
予測と違うことにひどく混乱する

新しい事、変化に不安を感じる

- ・手をひらひらさせる 体をゆする ぐるぐる回る
- ・展開性の乏しい遊びを飽きずに繰り返す
- ・ごっこ遊び、見立て遊びが苦手
- ・特定の物を持つ事に執着する
- ・物をえんえんと並べる
- ・方法や手順が同じでないと気が済まない

自閉スペクトラム症の症状

感覚の偏り

聴覚、視覚、触覚、味覚、嗅覚などに偏りがある
(音・声・光・味・におい・肌触りなどに敏感すぎる、鈍感すぎる)

- ・赤ちゃんの泣き声に耳をふさぐ
- ・追いこしていくトラックの音におびえる
- ・シャワーを嫌う
- ・特定の舌触りのものを嫌う
- ・暑さ、寒さや痛みにも鈍感

計算力、記憶力など**特異な能力が突出**していることがある

自閉スペクトラム症の対人関係のタイプ

- ①**孤立型** 対人関係を避ける
こだわり、過敏性が強く、度々パニックをおこす
身体症状も多い
- ②**受動型** 受け身でなら人と付き合える、指示に従える
パニックは少ない
- ③**積極奇異型** 人と積極的に接するが、独自で奇異なやり方
知的に高いが、十分な教育的配慮がないと
トラブルを起こしやすい
パニックを起こすことはあるが、
孤立型のような混乱は少ない

発達障害における支援、治療の位置付け

療育的対応（行動療法）

（心理社会的療法）

本人 SST

家庭（保護者）

ペアレントトレーニング

環境調整

幼保、学校

環境調整

療育機関 地域 福祉

+

薬物療法

行動療法（基本となる考え方）

好ましい行動を増やし、好ましくない行動を減らす

* 注目を得られるなら、繰り返し行動する

⇒ 注目のコントラストをはっきりする

好ましい行動(増やしたい行動)	褒める(すぐ褒める) 良い注目を与えるとき ご褒美・点数を与える
好ましくない行動(減らしたい行動)	無視 余計な注目をしない 冷静に 中立に 点数の除去
破壊的、他人を傷つける行動 (すぐに止めるべき行動)	リミットセッティング 警告 → タイムアウト きっぱりと 身体的罰はいらない

* 行動を褒める、無視する

関わり方のポイント

・ ソーシャルスキルトレーニング (SST)

★ 状況に応じた適応行動や人に対して適切な行動を取れるようにする。

ルールを守る

挨拶をする

自分の気持ちを伝える

人の話を聞く

気持ちを察する

・ペアレントトレーニング

行動理論に基づいた心理社会的治療

10回程度 グループで学習、振り返りを行い
ロールプレイをし、ホームワークにつなげる

関わり方のポイント

・ 環境調整 : 集中しやすい環境づくり

- ①事前に予定を明確化 視覚的に
- ②指示やルール、すべき事を示す
- ③気になる物を取り除く 隠す
- ④行動を始めやすい手がかりを示す

学校では

席は先生の近くに

注意力を奪う物を取り除く

カードや道具を取り入れる

動いてもよい環境を作る

休み時間の工夫

など

関わり方のポイント

★見える化する(視覚に訴える)

耳で聞く事は苦手 目で見て学んで理解する

写真、絵カード、道具などを使い説明する

- ・抽象的、あいまいなこと ⇒ 具体的に、はっきり伝える
- ・見通しをたてておく ⇒ 1日の流れ 今やる事、次にやる事
- ・時間の流れ ⇒ 時計の文字と針 カレンダー

★情報を選んで伝える

全体を把握するのは苦手

焦点がはっきりすると理解しやすい

- ・注目箇所を明確に⇒色をつける 強調する

関わり方のポイント

★興味のあることに結びつける

興味、関心のある事に対する集中力が高い

- ・「やる気」をださせる ⇒ 関心のあるものと結びつける

★感覚の偏りに注意（自閉スペクトラム症）

何でもない刺激に、過敏であったり鈍感であったりする

- ・過敏性への配慮

★パニックに注意（自閉スペクトラム症）

感覚過敏やこだわりに抵触したときき

- ・クールダウンの場の配慮

発達障害の薬物療法

◆ 対症療法である

異常行動などに対して症状を弱め、
適応をよくする

(1) ADHDの薬物療法

* コンサータ

* アトモキセチン（ストラテラ等）

* インチュニブ

* ビバンセ

* その他～症状により、抗うつ薬、抗精神病薬、
情動調節薬、抗けいれん薬 など

発達障害の薬物療法

(2) 自閉スペクトラム症の薬物療法

自閉症の基本的特徴を標的とした薬物療法は
現在のところない

* 抗精神薬：興奮 不穏 攻撃性 自傷 などの
症状に対して

* 抗うつ薬：抑うつ 強迫 不安 などの
症状に対して

* 気分安定薬：攻撃性 衝動性 不機嫌さ などの
症状に対して

副作用：食欲不振 体重増加or減少 鎮静
活動量の減少or増加 便秘 など

限局性学习症 学习障碍 (LD)

学習障害（LD）とは

知能には大きな問題がなく、目も見え、
耳も聞こえているのに

「聞く」「話す」「読む」「書く」

「計算する」「推論する」

のいずれか1つ以上が上手くできない
状態をいう

LDの分類

- ・ 読 字 障 害
- ・ 算 数 障 害
- ・ 書 字 障 害

読字障害

- ・ 文字を読む事を嫌がり、長い文章を読むと疲れる
- ・ なぞり読みをする
- ・ 音読に時間がかかる 読めても内容を理解していない
- ・ 行の飛ばし読みをする 拾い読みをする
- ・ 単語や文節の途中で区切ってしまう
- ・ 仮名の発音の誤り 「いってくる」 → 「いてくる」
- ・ 「は」を「わ」と読めずにそのまま「は」と読む
- ・ 形の似ている文字を間違って読む 「ぬ」 → 「め」
「雷」 → 「雪」
- ・ 意味が似ている熟語を間違えて読む 「教師」 → 「先生」

書字障害

- ・ 字を書く事、文章を書く事を嫌がり、文字を書くのに時間がかかる
- ・ 字が雑で、あとで読み返そうと思っても自分でも読めない
- ・ 漢字の書き順を間違えたり、書き順を気にしない
- ・ 句読点が抜けたり、正しく打つ事ができない
- ・ 書いた字がマス目や行に納められない
- ・ 促音（っ）撥音（ん）二重母音（おかあさん）の脱落がある
- ・ 拗音（や、ゆ、よ）を書かないことがある
- ・ 同じ音の書き誤りがある 「は」→「わ」
- ・ 形、音、意味の似ている文字や単語の書き間違いがある
「雷」→「雪」 「草」→「花」

算数障害

- ・ 数字が覚えられない
- ・ 簡単な計算に指を使い時間がかかる
- ・ 10の分解が出来ない 繰り上がり 繰り下がりが出来ない
- ・ 筆算の桁がずれる
- ・ 九九を暗記しても計算に使えない
- ・ 図形の認知や構成が出来ない事があり、数字や図形を正しく書き写す事が出来ない
- ・ 学年相応の文章題を解くのが難しい

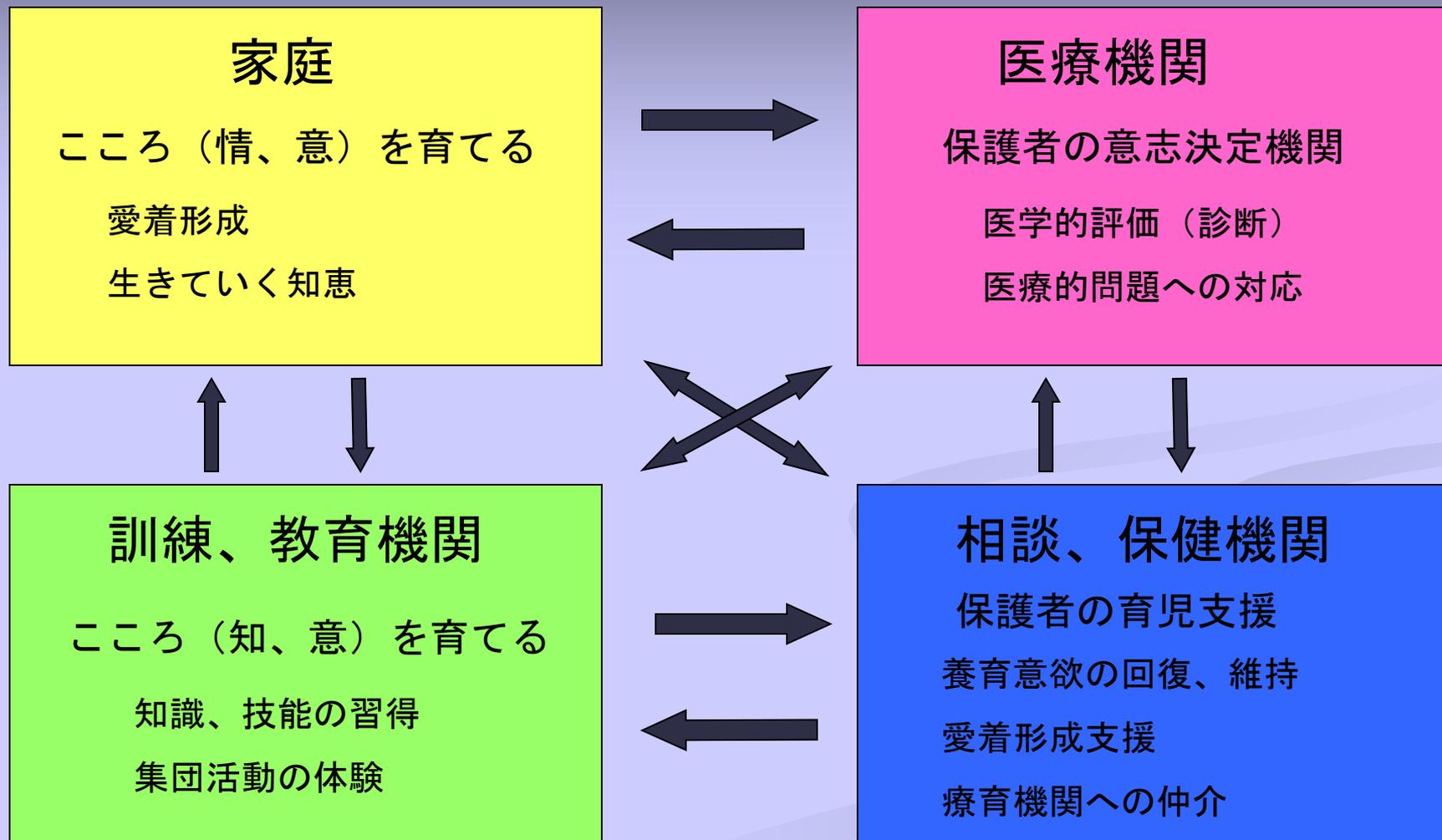
LD児への指導の基本的な考え方

- ★指導内容のスマールステップ化をはかる
- ★教材の具体化をはかる
- ★学習の速度に配慮する
- ★繰り返し指導する
- ★フィードバックする
- ★負担を減らす工夫（パソコンや計算機の使用）など

本日の流れ

- 1 発達障害とは？
- 2 それぞれの発達障害
 - 注意欠如多動性障害（ADHD）
 - 自閉スペクトラム症（ASD）
 - 限局性学習症（学習障害）（LD）
- 3 支援をつなぐ
- 4 まとめ

発達障害児への支援の役割分担 協働・連携



幼稚園、保育園から小学校へ

幼稚園 保育園

- ・ 身辺自立
集団生活の確立
- ・ 許容の幅が広い

入 学

学校

- ・ 身辺自立
集団生活
は既習事項
- ・ 許容の幅は
狭くなる
- ・ 「学習」は
重要な教育目標

発達障害児

環境変化への
対応が苦手

まわりが違う

指示が違う

困った!!

幼稚園、保育園から小学校へ

★ 学校にあがるまでにしておきたいこと ★

・ 集団生活の確立

人との関わりの基盤を培う

生活には枠組みがあることを知る

情動をコントロールする練習を開始

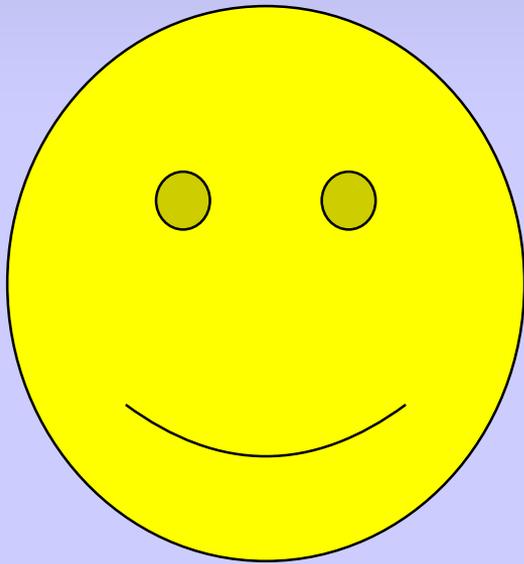
・ 身辺自立

基本的な生活習慣を養う

食事 排泄 着脱・身だしなみ

身の回りのものの片付け

とても大事！！！！

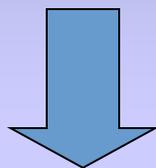


- ・ 早寝早起き朝ご飯
- ・ 三食きちんと食べる
- ・ 挨拶はしっかり
- ・ テレビ、ビデオは時間を決めて

特に発達障害児には！

入学までの相談、対応事項

- 保護者からの情報収集（相談）



対応の同一性、継続的支援が重要

- 校内見学 場の雰囲気、先生（人物）に慣れる
- 入学式の事前説明、練習
- 補助者の配置
- 座席の配慮
- 最低限参加が必要な時間の考慮 など

本日の流れ

- 1 発達障害とは？
- 2 それぞれの発達障害
 - 注意欠如多動性障害（ADHD）
 - 自閉スペクトラム症（ASD）
 - 限局性学習症（学習障害）（LD）
- 3 支援をつなぐ
- 4 まとめ

発達障害をもつ大人たち

◆社会的適応が良好

その人なりに幸せに生活

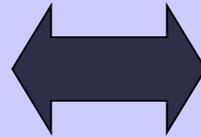
◆人や環境に対して

安心感

信頼感

一定の自己肯定感

が育っている



◆社会的適応が不良
(社会的不適応)

困難な生活

◆人や環境に対して

不安感

不信感

自己否定的な傾向

が強い

社会的適応が良好な大人へ育てた 保護者達は・・・

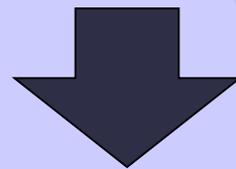
変わった子だな、とは思っていたが、この子はこの子だから

その子本来の特性を

理解し

受容し

工夫した



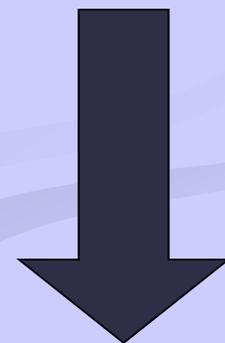
本人が自分自身に合った対処法を学び、
対応する能力 を身に付けた = 支援・治療目標

発達障害の共通の治療ゴール

* 自己有能感、自己肯定感を育てる *

- ★ 褒めて育てる
- ★ スモールステップで課題の達成感を経験

- ★ 各発達障害の症状（特性）に基づく機能障害（生活の中で上手くいかない事、適応障害）を出来るだけ少なくする事
- ★ 二次障害を防ぐこと



自分の苦手な点・得意な点を認識でき、
将来、対応を自分で工夫できるように
なること

まとめ

- ◆ 気にとめる 気付く ⇒ 障害特性を知り、分析する
- ◆ 子供を認める（共有と受容）
- ◆ 子供自身や親のせいにしない
- ◆ 親の協力者になる
- ◆ **スモールステップ** ⇒ 達成可能なものから少しずつ

★ 安心感、信頼感、自己肯定感が育ち、
その人らしい幸せな生活が送れるようになる
ことを目標に・・・

参考文献

- ・ 杉山登志郎 発達障害の子どもたち 講談社現代新書
- ・ 齋藤万比古、笠原麻里（編）
子どもの人格発達の障害 中山書店
- ・ 宮島 祐 発達障がいの診たてと対応 講演会資料
- ・ 太田昌孝 発達障害者の医療支援 講演会資料